

地域社会・社会貢献

方針

当社グループは、グループが持つ資源を有効に活かし、当社グループらしい社会貢献活動を通じて、地域社会の発展に貢献できるよう、次の「社会貢献方針」(2016年7月22日制定)に基づいて地域社会貢献に取り組んでいます。

社会貢献方針

- 日軽金グループは、地域の文化や慣習を尊重し、地域社会と協調してその発展と向上に貢献します。また、生物多様性保全活動などを通じて、地域の環境保全にも貢献します。
- 日軽金グループは、ものづくり教育や学術研究支援などを通じて、将来を担う次世代の人材の育成に貢献します。
- 日軽金グループは、従業員が自発的に地域に貢献する活動に参加できるよう、その支援態勢の充実に取り組みます。

計画

地域貢献活動計画は個々の事業所、事業会社で策定し取り組んでいます。
2024年度での主だった内容は下記のとおりであり、支出の実績は右記のとおりです。

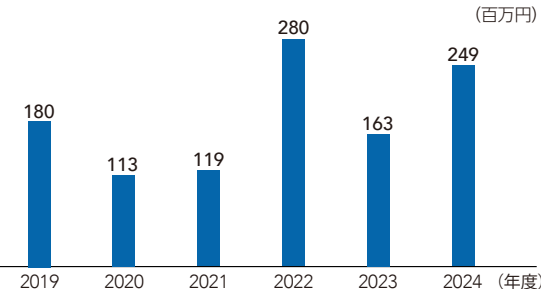
2024年度計画

- 従業員の社会貢献活動の把握・推進検討
- 各地域における文化体育事業および教育・研究機関への支援
- 地域コミュニティとの積極的な交流
- 警察等外部機関との協力と情報収集
- 社会貢献活動サイト報告の実施準備

社会貢献会計

2024年度は557の地域活動プログラムに参画し、支出額は249百万円となりました。

社会貢献会計



2024年度の取組み

主な地域貢献活動

実施時期	実施事業所	実施内容
2024年4月	日軽形材(株)	工場周囲の溝清掃および工場周辺の草刈りを実施
2024年5月	日本フルハーフ(株)	第37回ばら観賞会を開催
2024年5月	日本軽金属(株)名古屋工場	工場周辺の地域清掃活動を実施
2024年7月	日本軽金属(株)蒲原製造所 日軽産業(株)	近隣地域での河川美化活動に参加
2024年7月	日本軽金属(株)苫小牧製造所	苫小牧市内の小学校で車いすラグビー体験会を実施
2024年8月	日本軽金属(株)蒲原製造所	富士市内の中学校社会科教員の工場見学を受け入れ
2024年9月	日本軽金属ホールディングス(株)	日本軽金属グループ本社で「ファミリー社内見学会2024」を開催
2024年10月	日本軽金属(株)蒲原製造所	地域イベント「ちょっく楽市」に継続協力
2024年10月	日本軽金属(株)蒲原製造所	第36回「日軽祭」を開催
2024年11月	日本軽金属(株)蒲原製造所	地域イベント「第22回 蒲原宿場まつり&産業フェア」に参加
2024年11月	日本軽金属(株)蒲原製造所	蒲原製造所から地元小学校へ空気清浄機を寄贈
2024年11月	日本軽金属ホールディングス(株) 日軽パネルシステム(株)	下関市主催「インクルーシブスポーツフェスタinしものせき2024」に協力
2025年1月	日本軽金属(株)蒲原製造所	「蒲原海岸 初日の出プロジェクト」に協賛
2025年2月	日本軽金属(株)蒲原製造所	「富士山の日 吹上の浜クリーン作戦」に参加
2025年3月	日本軽金属(株)蒲原製造所	地元中学校へ各種備品を寄贈
2025年3月	日経パネルシステム(株) 滋賀日軽(株)	IVUSA主催 琵琶湖一周清掃活動に参加



工場周辺の草刈り、溝清掃



ばら観賞会



車いすラグビー体験会



学校備品寄贈



琵琶湖一周清掃活動

地域社会・社会貢献

雨畑ダム堆砂対策

当社グループの主要子会社である日本軽金属㈱が保有する雨畑ダム（山梨県南巨摩郡早川町）におきまして、2019年8月の台風10号、同年10月の19号などによって発生した周辺地域への浸水被害に対し、同社は2019年9月に国土交通省（以下、国交省）・山梨県・早川町とともに『雨畑地区土砂対策検討会』を設立し、2020年4月に「雨畑ダム堆砂対策基本計画」（以下、基本計画）を策定し、国交省へ提出しました。

右に、基本計画における短期計画【STEP1】、中期計画【STEP2】、長期計画【STEP3】の期間と目標、およびロードマップにおいて各々の実施状況を示します。

📎 [雨畑ダム堆砂対策基本計画](https://www.nikkeikin.co.jp/news/news/common/pdf/p202005070202.pdf) <https://www.nikkeikin.co.jp/news/news/common/pdf/p202005070202.pdf>

雨畑地区土砂対策基本計画 ロードマップ

項目		課題	短期		中期			長期
			2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度～
仮設堤防の建設		—	<div><div></div></div> 2020年11月工事完了					
河道の確保		過去最大規模の土砂流入に対応する河道の確保	<div><div></div></div> 河道掘削を継続					
湖内整備・湖内仮置		—	<div><div></div></div> 既設構造物や河岸道路の保護、仮置き場造成等					
搬出能力の増強		—	<div><div></div></div> 2021年3月増強完了					
土砂の活用	骨材資源	骨材需要の拡充に向けた調整	<div><div></div></div> 土砂の骨材資源活用を継続					
	雨畑川運搬路	—	<div><div></div></div> 2022年5月工事完了					
	早川運搬路	—	<div><div></div></div> 2024年6月工事完了					
	処分地の確保	広域的なニーズに応じた土砂活用の検討	<div><div></div></div> 土砂処分候補地の盛土造成と新たな候補地の調査					
継続的堆砂対策		長期計画の移行等に向けた検討および関係機関との調整	<div><div></div></div> 検討を継続					
土砂の移動・搬出量		—	300万㎡（完了）		300～400万㎡（目標）			

■ 調査・設計・協議・調整 ■ 施工 □ 運用

進捗状況

日本軽金属㈱は、2020年度より基本計画の実行を鋭意進め、2021年度末で終了した短期計画と、2024年度末までの中期計画により、目標を達成いたしました。また、2024年度までの進捗状況について、2025年3月に開催した第7回フォローアップ検討会にて、国交省・山梨県・早川町に報告しました。今後は長期計画を着実に実施いたします。

なお対策実行にあたり、2025年3月期までの堆砂対策費用として特別損失29,700百万円を充当いたしました。

水力発電施設の水利使用に係る再発防止策

当社グループの主要子会社である日本軽金属㈱は、国交省からの河川法第78条に基づく通知に対応し、2022年11月より水利使用に係る再発防止報告と河川法令遵守意識のための実施計画を提出しています。2024年度の実績は2025年5月末に、2025年度の計画は2025年2月末に提出いたしました。当社は今後も国交省の指導を受けながら再発防止を強化し、適切な管理を実施いたします。

実施状況

2024年度に実施した主な取組み内容は、次の通りです。

- (1) 従業員教育の実施（受講人数：延べ2,016名）

(2) 社内規定の整備（運用マニュアルの見直し・周知）

(3) 本社の環境保全・安全衛生統括部による現地調査の実施（2024年4月 本監査）

(4) 設備機器の再確認（主要流量管理施設）

(5) 電力部門（電力部・土木課・発電課・給電課）の業務内容の相互理解

当社は、今後も国交省のご指導をいただきながら、再発防止の強化を図り、適切な管理に努めていきます。